

EZCast ProAV

EZCast ProAV シリーズ 有線 LAN モデル

ET02 送信機 / ER02 受信機

日本語版 取扱説明書・保証書



●製品を正しくお使いいただくために、使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

安全上のご注意

⚠ 必ずお守りください

お客様への危害・損害を防ぐため、必ずお守りいただく内容をご説明します。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所など安定性に欠ける場所に設置しないでください。機器の落下などにより、けがや機器の破損・故障の原因となるおそれがあります



機器の上に乗らない、重い物を置かない

けがや機器の破損・故障の原因となるおそれがあります



密閉された空間や火気の近くでは使用しない

機器内部が高温になり、熱暴走による機器の動作不良、破損・故障のほか、発火・火災などの原因になるおそれがあります



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気があたる場所では使用しない

機器の動作不良、破損・故障のほか、発火・火災などの原因になるおそれがあります



自分で修理や分解、改造をしない

発火や感電、けがをするおそれがあります。お客様ご自身による修理や改造、分解による損害・故障について、当社は一切責任を負いません。また、お客様ご自身による修理や改造、分解による損害・故障の修理・交換は保証期間内であっても有料となります



製品のインターフェースやすき間に針金などの金属物や異物・指を入れない

機器の動作不良、破損・故障のほか、けがや感電、発火・火災などの原因になるおそれがあります

異物が本体に入ったら、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください



電源プラグを引き抜くときは、必ず電源プラグを持つ

コンセントから引き抜く際にコードを引っ張ると、コードが傷み、火災・感電の原因となるおそれがあります



機器を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから引き抜く

移動時にコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります



水のかかる場所では使用しない、濡れた手で電源プラグを触らない

機器に雨・雪・水がかかる場所では使用しないでください。また、機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。液体が機器に付着したり、中に入った場合、発火・火災や感電の原因となる場合があります



異常時は電源プラグをコンセントから引き抜く

発火・発煙、異臭・異音、機器内部に水・異物が混入した際など、機器に異常が見られる場合は速やかに電源プラグをコンセントから引き抜いてください。そのまま使用を続けると火災、感電、故障などにつながるおそれがあります

取扱説明書をお読みになるにあたって

- ・ 本取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ・ この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 本書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止しております。また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証規定をご参照ください）

- ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 保証書に記載されている保証が全てであり、この保証の外は、明示・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- ・ この説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。
- ・ 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。
- ・ 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。
- ・ 保証規定は、本取扱説明書最終章の「7. 保証規定」を参照ください。

商標

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・ 「USB」、「USB-C®」、「USB Type-C®」は、USB Implementers Forum の商標登録です。
- ・ その他本取扱説明書に記載されている会社名、製品名、技術・仕様名称等は、各社または特定団体の登録商標または商標です。

目次

取扱説明書をお読みになるにあたって	3
免責事項（保証内容については保証規定をご参照ください）	3
商標	3
目次	4
1. はじめに	5
製品情報	5
主な機能	5
有線 LAN について	6
必要機材	6
2. ET02 送信機	7
外観	7
各インターフェースに対応・接続する機器	8
技術仕様	9
同梱物	9
3. ER02 受信機	10
外観	10
インターフェースに対応・接続する機器	11
技術仕様	11
同梱物	12
本製品における DHCP サービス	12
4. 構成	13
SP（スプリッター）モード	13
SW（スイッチ）モード	16
5. 機能	20
リモート KVM スイッチ（USB キーボード/マウス）	20
IR コントロール（赤外線通信）	20
シリアル信号（UART） ※本体表記は「RS232」	21
6. オーディオ（音声）入出力	22
HDMI 入力と HDMI 出力	22
AUX 入力と HDMI 出力	22
HDMI 入力と HDMI/AUX 出力	23
HDMI/AUX 入力と HDMI/AUX 出力	23
7. 保証規定	24
保証期間	24
初期不良・不具合対応について	24
修理のご依頼について	25
保証期間終了後の対応について	25
お問い合わせ先	25

1. はじめに

この度は、EZCast ProAV シリーズ 有線 LAN モデル（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げ頂きありがとうございます。

本製品は、ネットワークの接続を利用して映像を同時配信できる HDMI 送受信機です。パソコンや AV 機器など（以下、「映像出力元機器」）の映像・音声を、有線 LAN ケーブルを経由して複数台のディスプレイやプロジェクターなどに出力することができます。理論上、送信機最大 16 台・受信機最大 238 台を同時接続することができます。また、本シリーズは特殊なネットワークの工事は必要なく、既存のネットワーク環境を活用することができます。

製品情報

- ・ 本製品は、パソコンや DVD プレーヤーなどの HDMI 出力を持つ機器と、HDMI 入力信号を表示・再生する機器間に HDMI ケーブルの代わりに接続することで、ディスプレイに映像や音声を転送します。
- ・ 比較的入手しやすく安価な有線 LAN を利用しており、既存の有線 LAN を有効利用することができます。
- ・ 本製品は、HDMI 1.4 信号に対応した HDMI タイプ A コネクタの映像出力ポートを持ったパソコン、タブレット端末、ゲーム機、カメラ、DVD や Blu-ray プレーヤーといった映像出力機器であれば、OS に関わらず映像配信が可能です。映像出力機器側にアプリケーションやソフトウェアをインストールする必要はありません。
- ・ 本製品は、送信機を「ET02 送信機」、受信機を「ER02 受信機」と呼びます。
- ・ 本製品を使用するには、ET02 送信機 1 台以上と ER02 受信機 1 台以上の組み合わせが必要となります。



ET02 送信機



ER02 送信機

主な機能

- **エクステンダー（映像信号の延長）：**
1 台の送信元から 1 台のディスプレイ・スピーカーへ出力することができます。（理論値最大 180m まで）
- **スプリッター（映像信号の分配）：**
1 台の送信元から複数のディスプレイ・スピーカーへ出力することができます。
- **スイッチ（映像信号の切り替え）：**
複数の映像出力機器を 1 台のディスプレイ・スピーカーへ切り替えて出力することができます。
※1 画面のみの表示です。1 台のディスプレイに複数の映像を同時出力することはできません。
- **マトリックス（映像信号の組み分け）：**
複数の送信元から複数のディスプレイ・スピーカーへ異なる映像を出力できます。
- **リモート KVM スイッチ：**
ER02 受信機にキーボード・マウスを接続し、離れた場所に設置したパソコンやサーバなどを操作することができます。
- スピーカーの音声を、離れた場所に設置したディスプレイに再生することができます。
- IR（赤外線通信）受信機器を、離れた場所から操作することができます。
- シリアル信号（UART）対応機器を、離れた場所から利用することができます。

有線 LAN について

接続距離の目安

ET02 送信機と ER02 受信機間の接続距離は、理論上 180m が最長距離となります。

IP アドレス

本製品は、同一セグメントの IP アドレスを使って、ET02 送信機間 - ER02 受信機間のやり取りを行います。また、本製品は DHCP サーバ側から自動で IP アドレスを付与されます。本製品の設定から IP アドレスの固定や範囲の指定はできません。詳しくは後述の「本製品における DHCP サービス」をご覧ください。

必要機材

本製品の運用には、同梱品以外にも下記の機材・環境が必要となります。また、構成によって受信機やケーブル類の数量が異なります。

- ・ 映像元となる HDMI 出力ポートのあるパソコン・DVD プレーヤーなど
- ・ 映像を出力するディスプレイやプロジェクター等
- ・ HDMI ケーブル
- ・ LAN ケーブル（イーサネットケーブル）
- ・ 有線 LAN ポートのあるルーター
- ・ ハブ 等

※ ルーターを利用せず、ET02 送信機と ER02 受信機を LAN ケーブルで直接接続して使用する場合は、ET02 送信機の DHCP 機能を起動させる必要があります。詳しくは後述の「本製品における DHCP サービス」の項目をご覧ください。

2. ET02 送信機

ET02 送信機は、パソコンや DVD プレイヤー・ゲーム機など HDMI 出力ポートを持った「映像出力元機器」の HDMI 信号を、有線 LAN を経由して ER02 受信機へ送信する機器です。

外観

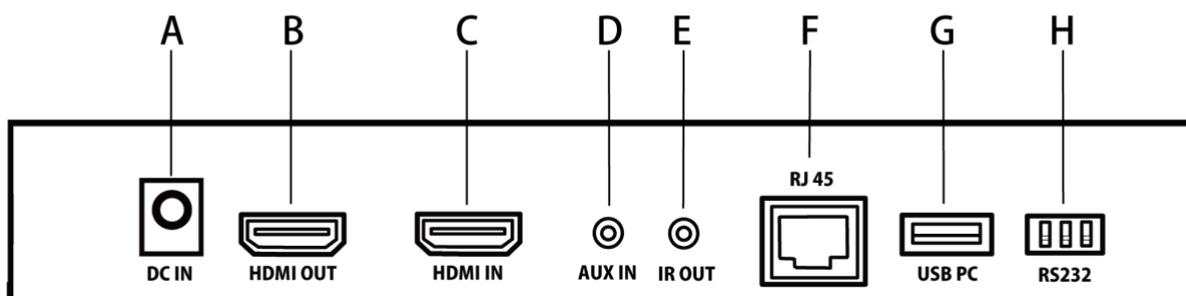
ER02 受信機との見分け方

天板に「EZCast ProAV TX」と印字されています。
背面には HDMI 出力ポート[HDMI OUT]と HDMI 入力ポート[HDMI IN]があります。

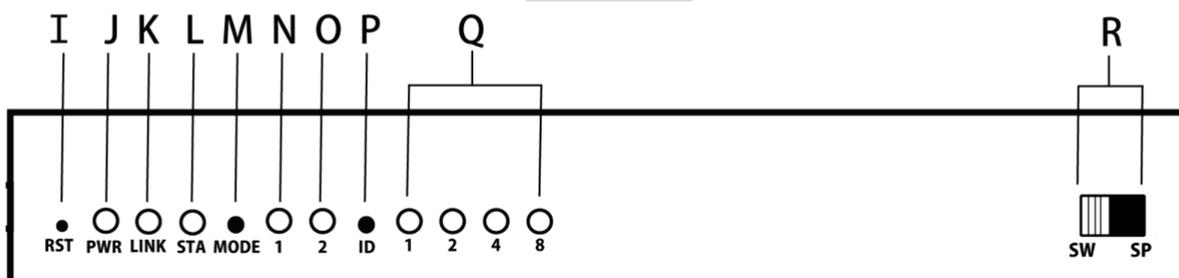


背面と正面

背面



正面



インターフェースと LED とスイッチ

背面

- A. **DC IN** : 電源差込口。同梱されている AC アダプターを接続します。本製品に電源スイッチはありませんので、AC アダプターを接続した時点で電源投入となります。
- B. **HDMI OUT** : ループバック用 HDMI 出力ポート。ループバックとは、ET02 送信機の [HDMI IN] から入力された HDMI データが内部で折返（ループバック）された HDMI 信号を出力します。
- C. **HDMI IN** : HDMI 入力ポート。映像出力元端末の HDMI 出力と接続します。
- D. **AUX IN** : 音声入力ポート。映像出力元端末の音声出力ポートと接続します。
- E. **IR OUT** : IR コントロール端子（送信側）。同梱されている IR アダプター（送信）を接続し、IR（赤外線通信）信号をリモートコントロールすることができます。
- F. **RJ45** : 有線 LAN ポート。この有線 LAN ポートにつないだネットワーク経由で ER02 受信機へ HDMI 信号を送信します。
IP アドレスは、接続された有線 LAN 上にある DHCP サーバから割り振られます。
- G. **USB PC** : USB Type-A ポート。同梱されている USB ケーブルでパソコンの USB Type-A ポートと接続することで、キーボードやマウスを ER02 受信機側からリモートコントロールする際に使用します。（リモート KVM スイッチ）
- H. **RS232** : シリアルポート。シリアル信号（UART）をリモートコントロールする際に使用します。

正面

- I. **RST** : リセットボタン。再起動や設定を初期化するときに使用します。
- J. **PWR** : 電源 LED。電源が入ると緑色に点灯します。
- K. **LINK** : ネットワーク通信を感知すると緑色に点滅します。
- L. **STA** : 機器が HDMI ケーブルに接続し、HDMI 信号を感知すると緑色に点灯します。
- M. **MODE** : MODE1 LED、MODE2 LED の点灯を切り替えます。
- N. **MODE1 LED (DHCP モード)** :
消灯時 : ET02 送信機で DHCP サービスは稼働していません。
点灯時 : ET02 送信機で DHCP サービスが起動しました。
点滅時 : ET02 送信機で DHCP サービスが稼働中です。
⇒ 接続するネットワーク環境に DHCP サーバが存在しないときのみ使用してください。
- O. **MODE2** : 現時点では使用しません。（常時消灯）
- P. **ID** : ET02 送信機のチャンネル ID を設定します。クリックするとチャンネル ID が切り替わります。
- Q. **1, 2, 4, 8** : 4 つの LED (4bit) の点灯で 1~15 までのチャンネル ID を表します。
- R. **SP/SW** : 切り替えスイッチ。スプリッターモードとスイッチモードを切り替えます。

各インターフェースに対応・接続する機器

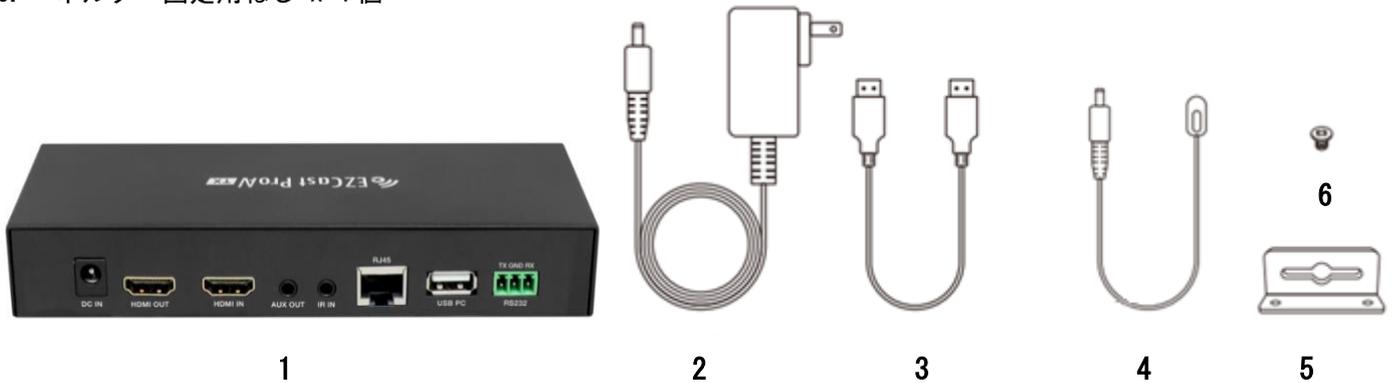
- ・ **HDMI OUT** : HDMI 対応ディスプレイ、プロジェクターなどの HDMI 入力機器、端子形状 : HDMI タイプ A
- ・ **HDMI IN** : HDMI1.4 信号に適応した HDMI タイプ A コネクタの出力端子を持ったパソコン、タブレット端末、ゲーム機、カメラ、DVD や Blu-ray プレイヤーなどの出力機器
- ・ **AUX IN** : 音声用アナログ出力信号に対応する機器、端子形状 : 3.5mm ステレオミニプラグ (3 極)
- ・ **IR OUT** : 同梱されている IR アダプター (送信)。端子形状 : 3.5mm ステレオミニプラグ (3 極)
- ・ **RJ45** : FastEthernet (100BaseT) 及び GigabitEthernet (1000BaseT) に対応するネットワーク。
端子形状 : RJ45
- ・ **USB PC** : USB2.0 に対応するパソコン。端子形状 : USB Type-A x 1
- ・ **RS232** : シリアル信号 (UART) 【TX (送信) 信号、Ground、RX (受信) 信号】に対応した機器

技術仕様

- ・ **サイズ** : 170mm (W) × 65mm (D) × 28mm (H)
- ・ **重量** : 約 300g
- ・ **インターフェース** : LAN ポート、HDMI 出力、HDMI1.4 入力、AUX 入力、IR (赤外線通信) 出力、USB Type-A、シリアル信号端子、電源ポート
- ・ **最大解像度** : 3840×2160 (30fps) または、4096×2160 (24fps)
- ・ **対応 OS** : HDMI1.4 に対応していれば OS 不問。Windows 10、11、Linux (Ubuntu 20.04) で動作確認済み
- ・ **電源** : 専用 AC アダプター (12V/1A)

同梱物

1. ET02 送信機本体 x 1 台
2. AC アダプター x 1 台
3. USB-A データケーブル x 1 本
4. IR アダプター (送信機用) x 1 本
5. ホルダー (本体固定用) x 2 個
6. ホルダー固定用ねじ x 4 個



3. ER02 受信機

ER02 受信機は、ET02 送信機から有線 LAN 経由で送信された HDMI 信号を受け、ディスプレイやプロジェクターなどの HDMI 入力機器へ HDMI 信号を転送する機器です。

外観

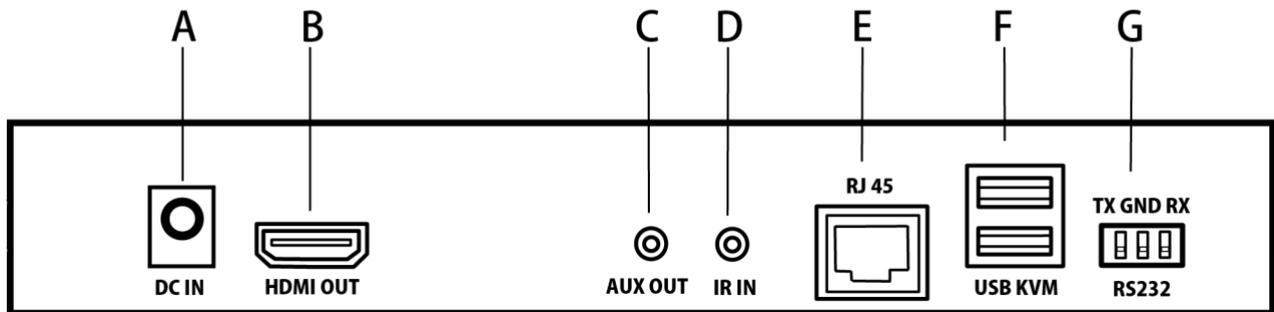
ET02 送信機との見分け方

天板に「EZCast ProAV RX」の印字があります。
背面は[HDMI OUT]と印字された HDMI 出力ポート 1 つのみです。

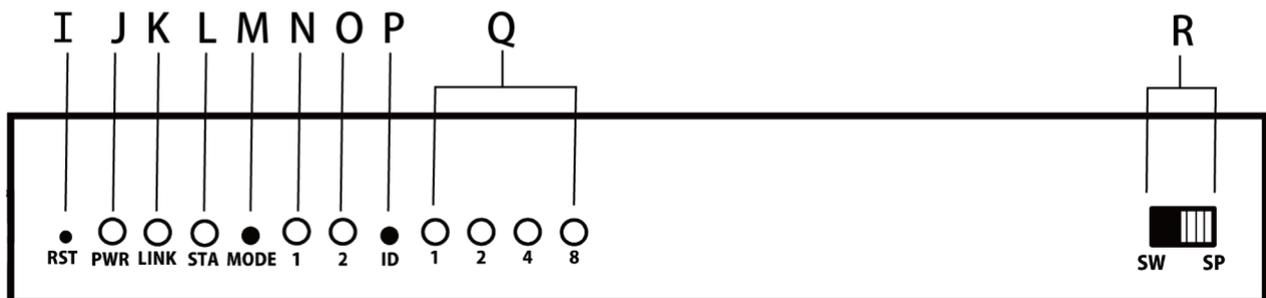


背面と正面

背面



正面



インターフェースと LED とスイッチ

背面

- A. **DC IN** : 電源差込口。同梱されている電源アダプターを接続します。電源スイッチはありませんので、AC アダプターを接続した時点で電源投入となります。
- B. **HDMI OUT** : HDMI 出力ポート。HDMI ディスプレイを接続します。
- C. **AUX OUT** : 音声出力ポート。スピーカーに接続して音声を出力します。なお、HDMI 出力ポート経由で HDMI 音声も出力することができます。
- D. **IR IN** : IR コントロール端子（受信側）。同梱されている IR アダプター（送信）を接続し、リモートコントロール用の IR（赤外線通信）信号を入力します。
- E. **RJ45** : 有線 LAN ポート。ルーターやスイッチとイーサネットケーブルで接続して使用します。（必須）
IP アドレスは DHCP での割り振りのみとなり、固定不可です。（必須）
- F. **USB K/M** : USB Type-A ポート。リモートコントロール用の外部キーボードとマウスの接続に対応します。接続することで ER02 受信機側から ET02 送信機側のパソコンを操作することができます。
- G. **RS232** : シリアルポート。シリアル信号（UART）をリモートコントロールする際に使用します。

正面

- I. **RST** : リセットボタン。再起動や設定を初期化するときに使用します。
- J. **PWR** : 電源 LED。電源が入っているときに緑色に点灯します。
- K. **LINK** : ネットワーク通信を感知するときに緑色に点滅します。
- L. **STA** : HDMI ケーブルに接続し、HDMI 信号を感知すると緑色に点灯します。
- M. **MODE** : クリックすると表示モードが切り替わり（モード1で点灯）、長押しすると解像度が最適化されます。
- N. **MODE1** : 消灯しているときは、遅延の少ないグラフィックモードで出力中です。点灯しているときは画質が落ちにくいビデオモードで出力中です。
- O. **MODE2** : 現時点では使用しません。（常時消灯）
- P. **ID** : チャンネル ID 設定ボタン。クリックするとチャンネル ID が切り替わります。
- Q. **1, 2, 4, 8** : 4つの LED（4bit）の点灯で1～15までのチャンネル ID を表します。
- R. **SP/SW** : 切り替えスイッチ。スプリッターモードとスイッチモードを切り替えます。

インターフェースに対応・接続する機器

- ・ **HDMI OUT** : ディスプレイ、プロジェクターなどの映像出力機器。端子形状 : HDMI タイプ A コネクタ
- ・ **AUX OUT** : 音声用アナログ入力信号に対応する機器、端子形状 : 3.5mm ステレオミニプラグ（3 極）
- ・ **RJ45** : FastEthernet(100BaseT) 及び GigabitEthernet（1000BaseT）に対応するネットワーク。
端子形状 : RJ45
- ・ **USB KVM** : USB2.0 に対応したパソコン用キーボード及びマウス。端子形状 : USB Type-A x 2
- ・ **RS232** : シリアル信号（UART）【TX（送信）信号、Ground、RX（受信）信号】に対応した機器

技術仕様

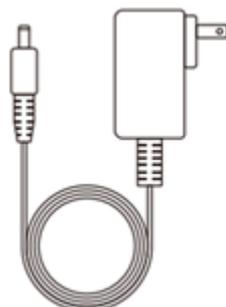
- ・ **サイズ** : 170mm (W) × 65mm (D) × 28mm (H)
- ・ **インターフェース** : LAN ポート、HDMI1.4 出力、AUX 出力、IR（赤外線通信）入力、USB Type-A、シリアル信号端子、電源ポート
- ・ **最大解像度** : 3840×2160（30fps）または、4096×2160（24fps）
- ・ **重量** : 約 290g
- ・ **電源** : 専用 AC アダプター（12V/1A）

同梱物

1. ER02 受信機本体 x 1 台
2. AC アダプター x 1 台
3. IR アダプター（受信機用） x 1 本
4. ホルダー（本体固定用） x 2 個
5. ホルダー固定用ねじ x 4 個



1



2



3



4

5

本製品における DHCP サービス

本製品で使用する IP アドレスは DHCP を使って自動的に付与されます。本製品の操作で固定 IP アドレスを設定することは原則できません。

ただし、本製品を接続したネットワークセグメント上に DHCP サーバがない場合や、ET02 送信機と ER02 受信機を LAN ケーブルで直接接続する場合は、ET02 送信機にて DHCP サービスを稼働する必要があります。

その際のセグメントは、「192.168.168.0/24」となります。

ET02 送信機での DHCP サービス稼働方法

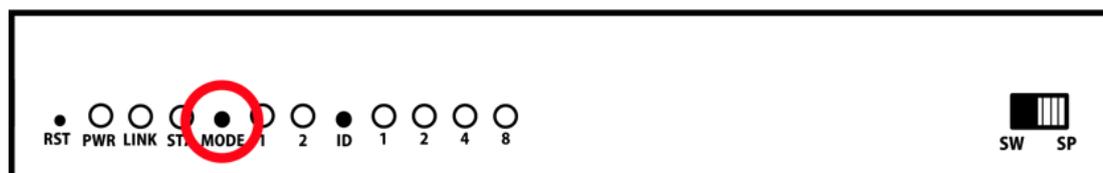
● ET02 送信機の DHCP サービスを稼働する前に

同一セグメント上に他の DHCP サーバが稼働していないかどうか、必ずご確認ください。

複数の DHCP サーバが存在すると、通信に影響を及ぼすことがあります。

<ET02 送信機 DHCP サービス稼働>

- 1) ET02 送信機の正面にある [MODE] ボタンを押します。
- 2) [MODE] ボタン横の LED1 が点滅あるいは点灯したことを確認してください。



<参考情報>

DHCP サーバによっては、MAC アドレスを使って IP アドレスを固定できる機能が備わっているものもございます。詳しくはお使いの DHCP サーバの管理者へご確認ください。

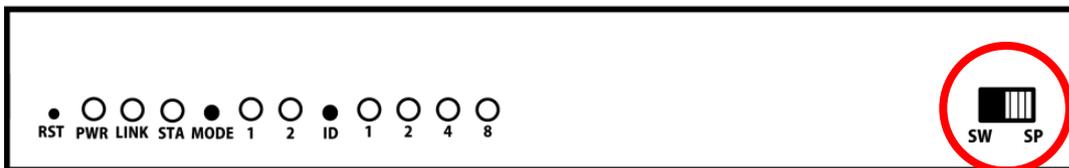
4. 構成

主に4種類の構成があります。構成によって ET02 送信機・ER02 受信機の正面右端にある「切り替えスイッチ」を手動で切り替え、SW/SP モードを設定する必要があります。

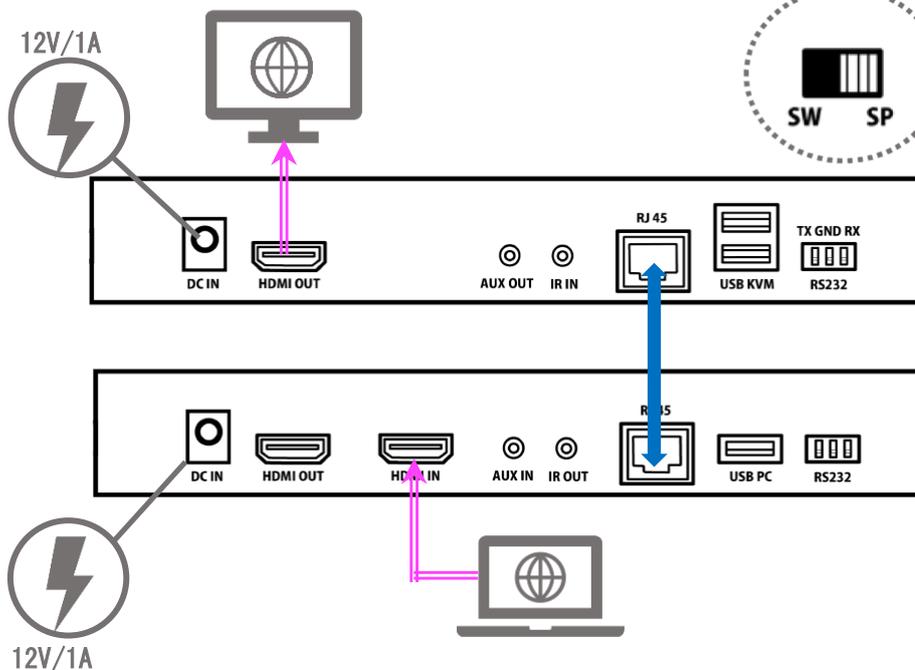
モード (切り替えスイッチ)	読み方	構成
SP	スプリッター	1. エクステンダー (映像信号の延長) 2. スプリッター (映像信号の分配)
SW	スイッチ	3. スイッチ (映像信号の切り替え) 4. マトリックス (映像信号の組み分け)

SP (スプリッター) モード

「エクステンダー (映像信号の延長)」と「スプリッター (映像信号の分配)」構成にする場合は、切り替えスイッチを「SP」にします。



- 1) ET02 送信機と ER02 受信機を、LAN ケーブルで同一セグメントに接続します。
- 2) ER02 受信機と ET02 送信機両方の正面右端スイッチを「SP (スプリッターモード)」にします。
- 3) 電源 (12V/1A) と、ER02 受信機の映像を出力するディスプレイを接続します。
- 4) ET02 送信機に電源 (12V/1A) と映像出力元端末を接続します。
- 5) ER02 受信機と ET02 送信機を LAN ケーブルで接続します。
- 6) 付属の AC アダプターを接続すると電源が入り、映像出力元端末の映像がディスプレイに表示されます。



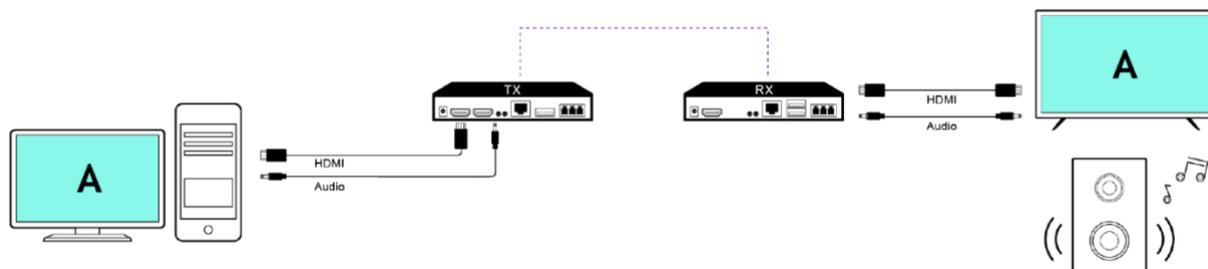
トラブルシューティング

ER02 受信機に接続されたディスプレイに映像信号が表示されない場合は ER02 受信機と ET02 送信機がスプリッターモード (SP) になっていることを確認してください。

構成 1. エクステンダー（映像信号の延長）

ET02 送信機 1 台 : ER02 受信機 1 台

HDMI 出力機器 1 台の HDMI 映像を、HDMI ディスプレイ 1 台へ有線 LAN で延長して表示します。
送信機と受信機正面にある切り替えスイッチを「SP」（スプリッターモード）にします。



活用例：離れた場所や別室・別階などに設置したディスプレイ 1 台への映像出力

この構成に必要な機器類

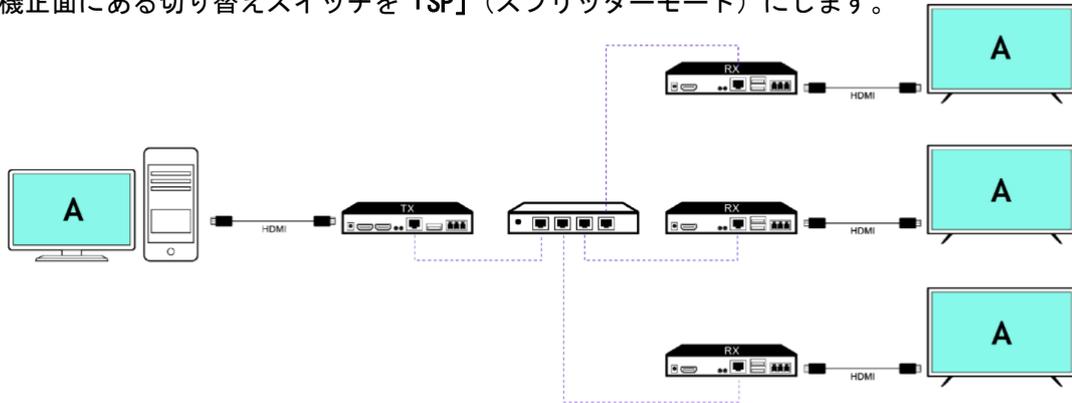
- ・ ET02 送信機… 1 台
- ・ ER02 受信機… 1 台
- ・ ディスプレイ… 1 台
- ・ HDMI ケーブル … 2 本
- ・ LAN ケーブル（イーサネットケーブル）
- ・ 有線 LAN ポートのあるルーター
ハブ

※ ルーターを利用せず、ET02 送信機と ER02 受信機を LAN ケーブルで直接接続して使用する場合、ET02 送信機の DHCP 機能を起動させる必要があります。
詳しくは「本製品における DHCP サービス」の項目をご覧ください。

構成 2. スプリッター（映像信号の分配）

ET02 送信機 1 台 : ER02 受信機 複数台

1 台の HDMI 出力機器から信号を、HDMI ディスプレイ複数台に分配して同時表示します。
複数のディスプレイに同じ映像を同時に表示させたいときなど。
送信機と受信機正面にある切り替えスイッチを「SP」（スプリッターモード）にします。



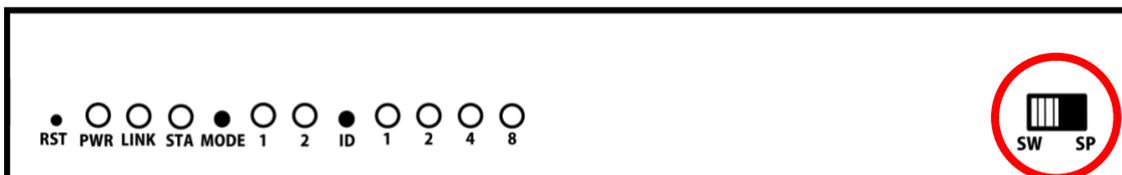
活用例：離れた場所や別室・別階などにあるディスプレイ複数台への同時映像出力

この構成に必要な機器類

- ・ ET02 送信機… 1 台
- ・ ER02 受信機…複数台
- ・ ディスプレイ…ER02 受信機と同数
- ・ HDMI ケーブル
- ・ LAN ケーブル（イーサネットケーブル）
- ・ 有線 LAN ポートのあるルーター
- ・ ハブ 等

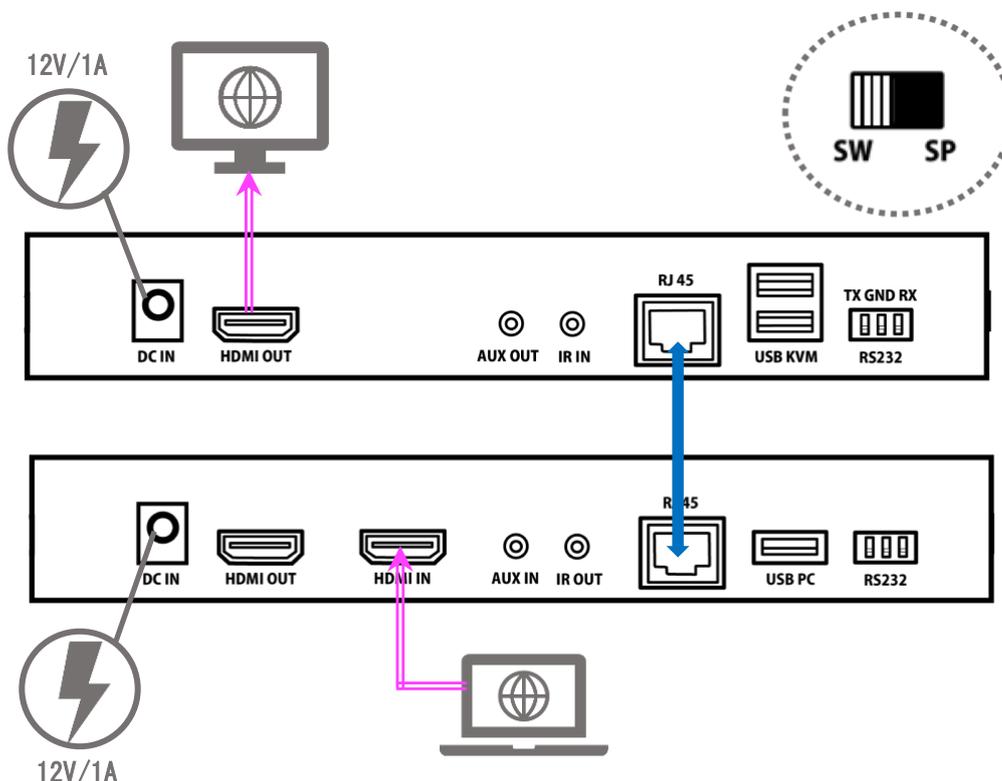
SW（スイッチ）モード

「スイッチ（映像信号の切り替え）」と「マトリックス（映像信号の組み分け）」構成にする場合は、切り替えスイッチを「SW」モードにします。



- 1) ET02 送信機と ER02 受信機を、LAN ケーブルで同一セグメントに接続します。
- 2) ER02 受信機と ET02 送信機 両方の正面右端スイッチを SW（スイッチモード）にします。
- 3) ER02 受信機に 12V/1A の電源と、ER02 受信機の映像を出力するディスプレイを接続します。
- 4) ET02 送信機に電源（12V/1A）と映像出力元端末を接続します。
- 5) ER02 受信機と ET02 送信機を LAN ケーブルで接続します。
- 6) 付属の AC アダプターを接続すると、電源が入ります。
- 7) ER02 受信機と ET02 送信機を同じチャンネル ID に設定すると、映像出力元端末の映像がディスプレイに表示されます。

★ 後述する「マトリックス」構成のように、同一ネットワーク上に複数の ET02 送信機を設置する際は、それぞれ異なるチャンネル ID を設定してください。



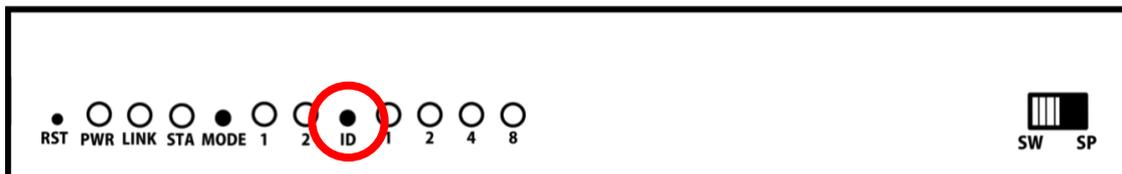
トラブルシューティング

ER02 受信機に接続されているディスプレイに映像が表示されない場合は、ER02 受信機と ET02 送信機が次の状態であることを確認してください。

- ① 切り替えスイッチがどちらも「SW」になっていること。
- ② 同じチャンネル ID に設定されていること。

SW モードにおけるチャンネル ID 設定

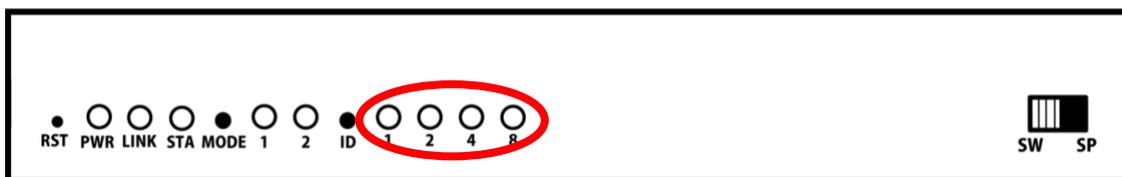
切り替えスイッチを「SW」にしたあと、ET02 送信機の正面にある[ID]ボタンを押すことで、チャンネル ID を設定することができます。



チャンネル ID は1～15 まで設定することができます。また、ID ボタンを押すごとにチャンネル ID が繰り上がります。ER02 送信機は、選択したチャンネル ID が選択されている ET02 送信機の HDMI 信号を受信し、ディスプレイ等に出力します。

チャンネル ID の確認方法

チャンネル ID を確認するには、本書 P.7 「Q」の「1, 2, 4, 8」と記載された、4 つ LED の点灯・消灯の状態を確認します。



2 進法で表示されており、例えば「1」と「4」の LED が点灯している場合、チャンネル ID は「5」となります。詳しくは下図の早見表をご覧ください。

<チャンネル ID 早見表>

	1	2	4	8		1	2	4	8	
●=点灯 ○=消灯	ID 1	●	○	○	○	ID 9	●	○	○	●
	ID 2	○	●	○	○	ID 10	○	●	○	●
	ID 3	●	●	○	○	ID 11	●	●	○	●
	ID 4	○	○	●	○	ID 12	○	○	●	●
	ID 5	●	○	●	○	ID 13	●	○	●	●
	ID 6	○	●	●	○	ID 14	○	●	●	●
	ID 7	●	●	●	○	ID 15	●	●	●	●
	ID 8	○	○	○	●					

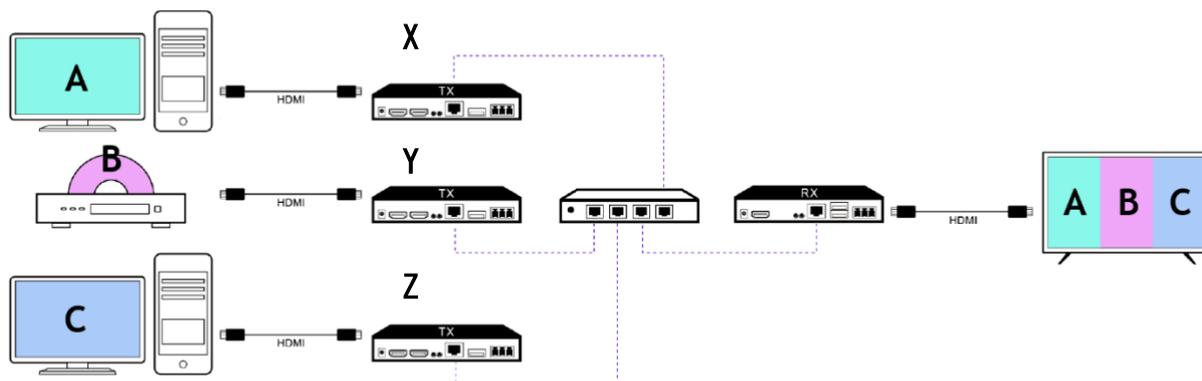
※ SP モードのときはチャンネル ID の設定はできません。LED は 4 つともすべて消灯しています。

構成 3. スイッチ（映像信号の切り替え）

ET02 送信機 複数台 : ER02 受信機 1 台

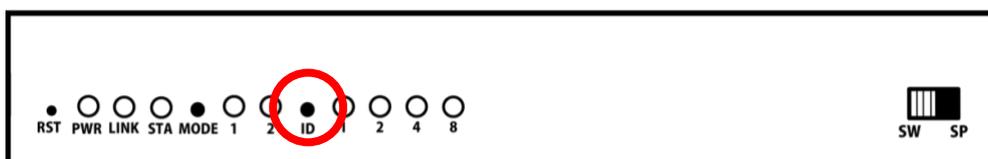
複数の HDMI 出力機器の HDMI 出力を、ER02 受信機のチャンネル ID を切り替えることで、HDMI ディスプレイ 1 台へ表示します。送信機と受信機正面の右端にあるスイッチは、「SW」（スイッチモード）にします。

下記例では、A に接続された送信機 X、B に接続された送信機 Y、C に接続された送信機 Z にそれぞれ異なるチャンネル ID を割り当てています。



出力元	送信機		受信機	
		チャンネル ID	チャンネル ID (手動で切り替え)	出力映像
A	X	1	1	A
B	Y	2	2	B
C	Z	3	3	C

ディスプレイに接続された受信機側で、ID ボタンを押してチャンネル ID を切り替えることができ、ディスプレイに投影される画面を選択できます。



なお、スイッチモードでは、複数の画面を同時にディスプレイに表示する分割画面表示はできません。1 画面のみの表示となります

活用例：複数の映像出力機器の画面を、切り替えながら 1 台のディスプレイで視聴するとき

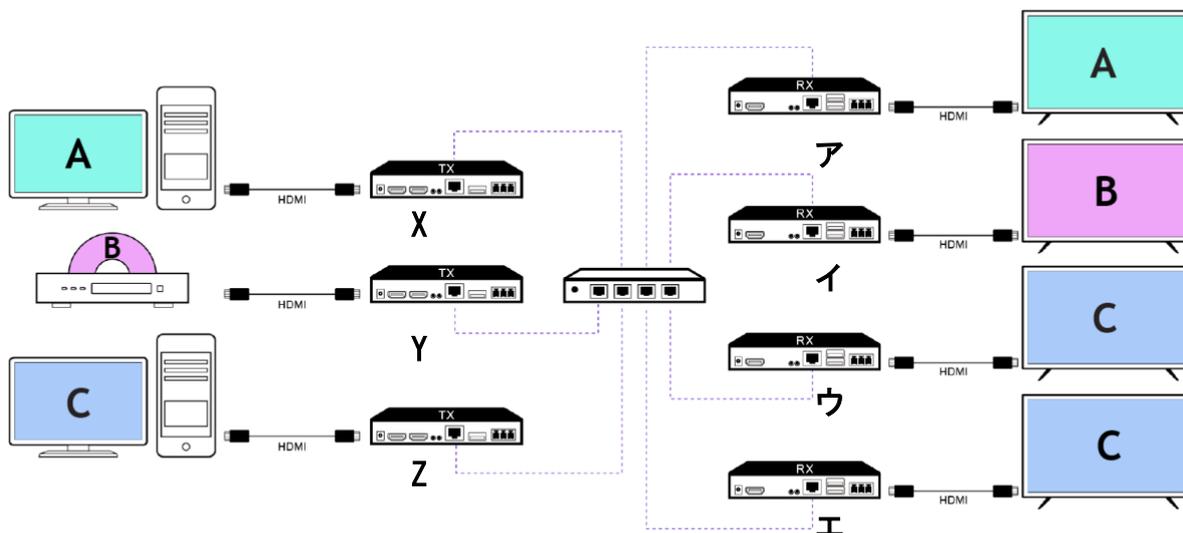
この構成に必要な機器類

- ・ ET02 送信機…複数台
- ・ ER02 受信機…1 台
- ・ ディスプレイ…1 台
- ・ HDMI ケーブル
- ・ LAN ケーブル（イーサネットケーブル）
- ・ 有線 LAN ポートのあるルーター
- ・ ハブ

構成 4. マトリックス（映像信号の組み分け）

ET02 送信機 複数台 : ER02 受信機 複数台

一つのネットワークを使用して、ID ボタンでチャンネル ID を送信機と受信機で組み合わせます。
送信機と受信機正面右側端にあるスイッチは、SW（スイッチモード）にします。



出力元	送信機		受信機		
		チャンネル ID		チャンネル ID	出力映像
A	X	1	ア	1	A
B	Y	2	イ	2	B
C	Z	3	ウ	3	C
			エ	3	C

活用例：複数のディスプレイに、それぞれ異なる映像出力機器の映像を表示させたいとき

この構成に必要な機器類

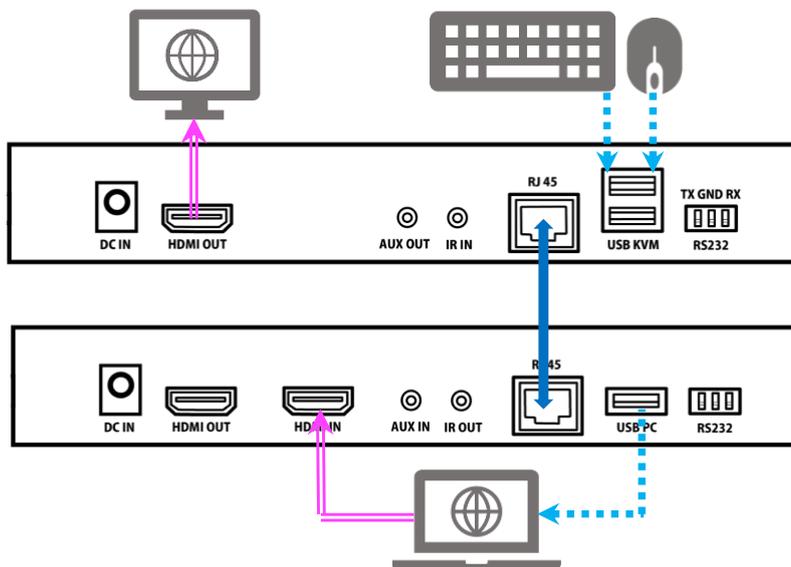
- ・ ET02 送信機…複数台
- ・ ER02 受信機…複数台
- ・ ディスプレイ…ER02 受信機と同数
- ・ HDMI ケーブル
- ・ LAN ケーブル（イーサネットケーブル）
- ・ 有線 LAN ポートのあるルーター
- ・ ハブ

5. 機能

本製品に備わっている機能とその接続についてご案内致します。これらは SP/SW モードどちらでも使用可能です。

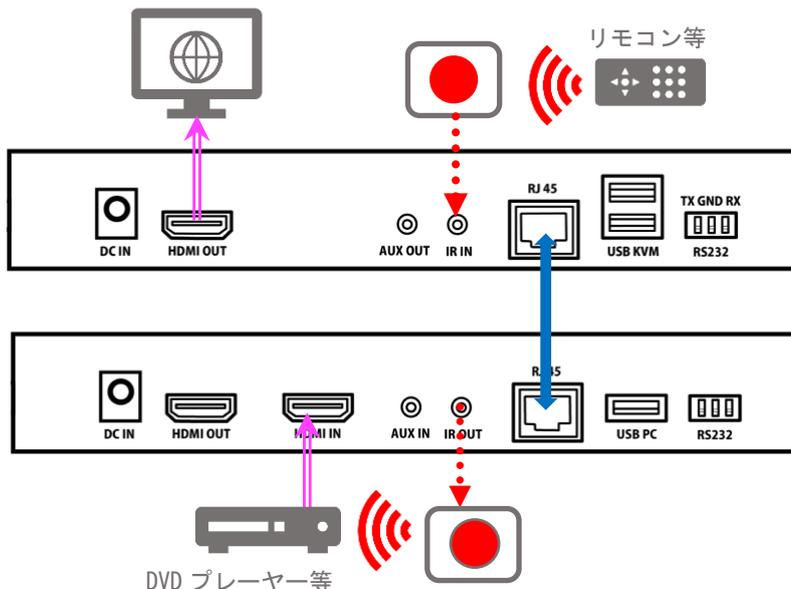
リモート KVM スイッチ (USB キーボード/マウス)

- ER02 受信機に USB キーボード/マウスを接続し、ET02 送信機に同梱されている USB ケーブルでパソコンを接続すると、離れた場所で、パソコン操作が可能です。
- ER02 受信機の [USB K/M] ポートはキーボード/マウスの入力用、ET02 送信機の [USB PC] ポートはパソコンのリバースコントロール出力用です。



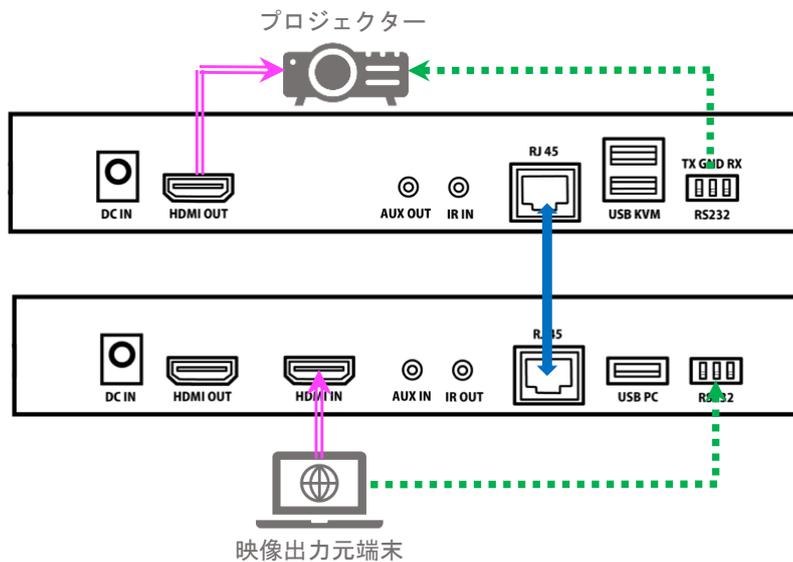
IR コントロール (赤外線通信)

- ER02 受信機と同梱されている IR アダプター (受信)、ET02 送信機と同梱されている IR アダプター (送信) をそれぞれ接続すると、ER02 側から、赤外線リモコンを通じて ET02 送信機側に接続された機器を操作することができます。
- ER02 受信機の [IR IN] は赤外線信号入力用、ET02 送信機の [IR OUT] は赤外線信号出力用です。



シリアル信号 (UART) ※本体表記は「RS232」

- シリアル信号ポートは、シリアル信号とのやり取りを可能にします。
- 下図の例では ER02 受信機に接続されたプロジェクターを送信機からシリアル信号で遠隔操作する例です。



- シリアル信号 (UART) の 3 つのポートは、左から右へそれぞれ TX (送信) 信号、Ground、RX (受信) 信号です。端子形状 : 3-pin Phoenix Connector

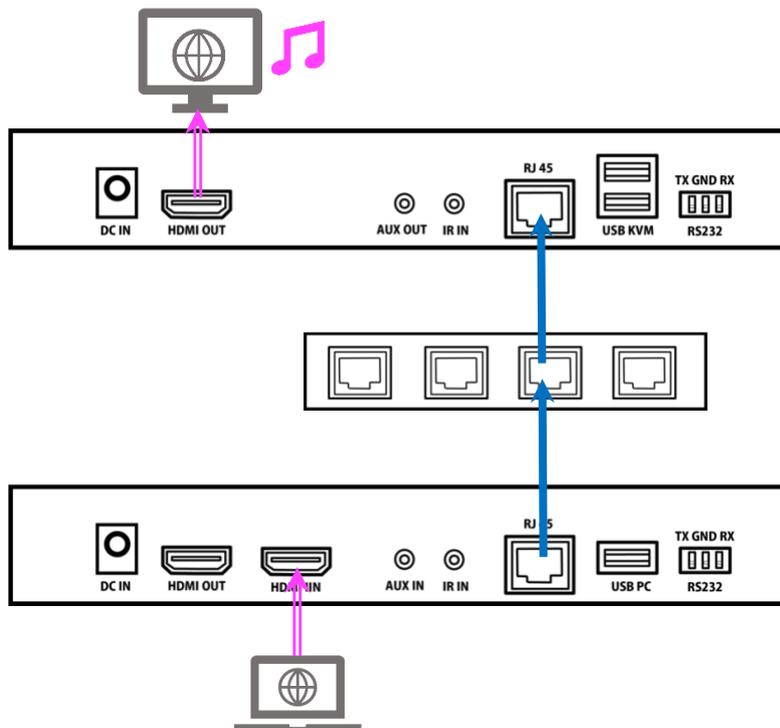


6. オーディオ（音声）入出力

オーディオ（音声）信号の入出力についてご説明します。SP/SW モードどちらも共通です。

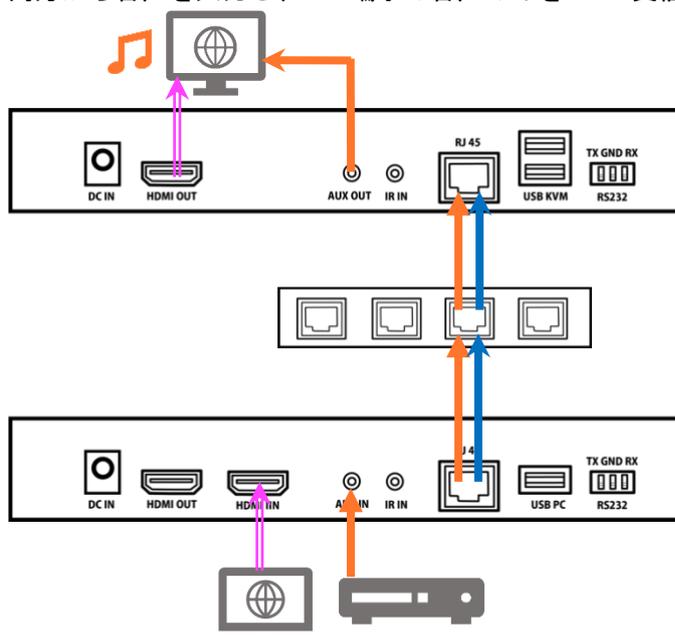
HDMI 入力と HDMI 出力

- ET02 送信機の HDMI 端子からオーディオソースを入力し、ER02 受信機の HDMI 端子に出力します。



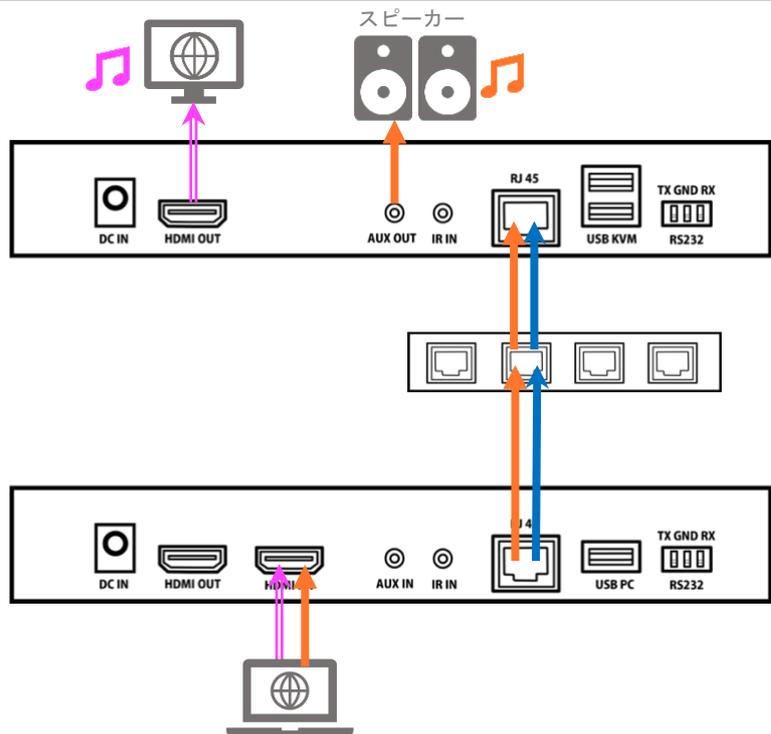
AUX 入力と HDMI 出力

- ET02 送信機の HDMI 端子と AUX 端子の両方から音声を入力し、AUX 端子の音声のみを ER02 受信機に出力することができます。



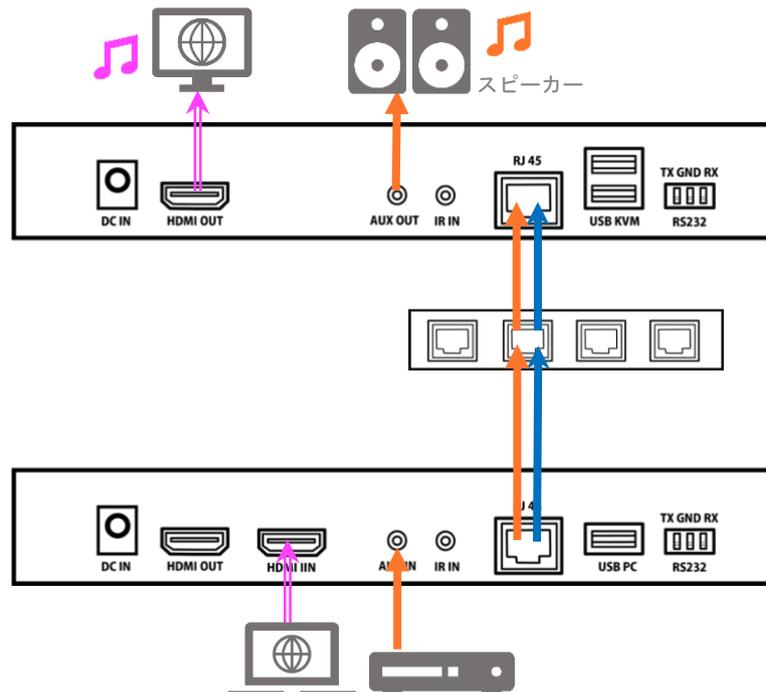
HDMI 入力と HDMI/AUX 出力

- ET02 送信機の HDMI 端子からオーディオソースを入力し、ER02 受信機の HDMI 端子と AUX 端子の両方から出力します。



HDMI/AUX 入力と HDMI/AUX 出力

- ET02 送信機の HDMI 端子と AUX 端子の両方から音声を入力し、ER02 受信機の HDMI 端子と AUX 端子の両方から出力機器を接続した場合、ET02 送信機の AUX 入力の音声のみが ER02 受信機の HDMI 端子と AUX 端子の両方に出力されます。



7. 保証規定

保証期間

ご購入日から 1 年間

※ お買い上げの際、保証書に購入日をご記入くださいますよう、お願い致します。

初期不良・不具合対応について

- お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に基づいた正常な使用状態で万が一故障・不具合が起きた際、保証規定に従い、初期不良対応や無償修理などを行います。
- 保証を受けるためには、弊社が発行した保証書のご提示が必要となります。
- 保証書に購入店名および購入日時に記載がない場合には無効となります。保証書を紛失された場合は、購入されたことが確認できるレシートや納品書等の書類（コピー可）をご用意ください。
- 以下の場合は保証期間内であっても有償または保証対象外となる場合があります。
 1. 保証書または弊社経由で販売したことを証明する書類を紛失された場合
 2. 火災、地震、水害、帯電、その他天災地変、公害や異常電圧による故障・損傷
 3. 落下や不当な取り扱いによる故障・損傷
 4. 製品に添付された取扱説明書による手順や注意事項に従わない使用方法に起因する故障・損傷
 5. 他の機器に起因する故障・損傷
 6. 不当改造、不当調整、ユーザによる部品交換など人為的な操作による故障・損傷
 7. 特定のソフトウェアのみ動作に不具合が生じるなどソフトウェアの相性による動作不良
 8. 一部のアクセサリ・ケーブル・メディア・消耗品
 9. 中古売買、譲渡による場合
- 本製品は、「**センドバック保証**」となります。

センドバック保証について

製品の保証期間内に故障や不具合が発生した場合、お客様から製品サポートへ製品一式をご送付いただき、動作検証を行います。動作検証の結果、お伝え頂きました故障や不具合を確認できた場合、必要に応じて製品の交換や修理を行い、作業完了後にお客様へ製品をご返送する保守サポートです。

- お客様が代替品を受領された後に、故障した機器をメーカーにお送り頂く「**先出しセンドバック保証サービス**」は、弊社では原則として行っておりません。予めご了承頂きますようお願い致します。
- 本製品の保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間の延長は、原則ございません。
- 保証書の再発行は致しませんので、お客様で保管していただきますよう、お願い致します。
- 弊社より出荷した製品以外の修理・サポートは承っておりません。

修理のご依頼について

- 修理を希望される場合は、下記「HDMI 送受信機専用 お問い合わせフォーム」からご連絡ください。弊社担当者より連絡を差し上げます。内容によっては返信に数日頂く場合がございますので予めご了承ください。
- 事前のご連絡がないまま故障機器を弊社宛にお送りいただいた場合、修理にお時間が必要になったり、連絡事故が発生する可能性があります。必ずお問い合わせフォームから事前にご連絡いただき、弊社からの返送受付メールを受領してからの故障機器のご発送をお願い致します。
- 弊社発行の保証書と、機器の管理番号を確認いたしますので、予めご確認ください。管理番号は、機器底面のシールに記載しております(例：120752-ER0216)。
- 不具合等の原因がお客様の設定・接続等の誤りであった場合、また製品の不良・不具合が認められない場合は、技術料を請求させていただく場合がございます。予めご了承ください。

保証期間終了後の対応について

- 保証期間終了後も、ご要望に応じて機器の動作確認・検証を行い、有償での修理を承ります。その場合も下記「HDMI 送受信機専用 お問い合わせフォーム」からご連絡ください。
- 修理料金として技術料（点検・修理・調整などの費用）を頂戴致します。
- 弊社より出荷した製品以外の修理・サポートは承っておりません。

お問い合わせ先

HDMI 送受信機専用 お問い合わせフォーム



https://www.amulet.co.jp/actionsmicro/hdmi_inquiry/

アミュレット サポート・センター



support@amulet.co.jp

本製品に関する情報は、こちらに掲載しております



<https://www.amulet.co.jp/actionsmicro/proav/>

※保証書割愛

※保証書割愛

AMULET

アミュレット株式会社 法人営業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-5-12
TEL : 03-5295-8439

AMU-AM-PAV-E_20231128